

一般質問

Onna Village Assembly
第8回恩納村議会定例会 平成27年9月15・16日

今回の質問項目

(○は今回掲載された質問です)

山内 鈴子 議員 電話 964-3468

- ・障害者採用促進について
- ・福祉行政について
- ・赤間運動場観客施設について
- ・がん検診の受診率について

山城 良一 議員 電話 965-5513 P-6

- 恩納村観光大使設置要綱について
- 参事制度導入について
- 前兼久漁港施設用地利用について
- 指名競争入札参加について

佐渡山 明 議員 電話 966-2443 P-7

- 恩納村プレミアム付商品券事業を問う
- 建設行政を例にあげて、恩納村の商工振興を問う

又吉 薫 議員 電話 966-2911 P-8

- 恩納ナビ屋敷跡地の整備保存についての考え方を問う
- 恩納番所の跡地利用について
- 新地方公会計の分析結果からみた、将来の財政運営について
- 財源確保のための、税収対策について

平良 幸夫 議員 電話 966-2974 P-9

- 地域防災について
- 万座毛周辺整備計画について

喜納 正誠 議員 電話 964-2580

- ・観光振興について
- ・うまんちゅの会

大城 保 議員 電話 964-3841 P-10

- Wi-Fiの整備について
- プレミアム商品券「おんなだけ」について

糸数 昭 議員 電話 965-4052 P-11

- 読谷村新火葬場について
- 防災について

大城 堅三 議員 電話 966-2393 P-12

- 河川管理と災害警戒区域指定の検証と対策について
- 再編交付金について
- 地域行政懇談会の実施について

吉山 盛次郎 議員 電話 965-0669 P-13

- 村条例に基づいて、海岸、海浜に設置されるべき、法秩序または法令に反する行為を禁止する看板について
- 庁舎内議会本会議実況放送について
- 青少年のスポーツ振興について
- 赤間運動場の利用時間延長について

議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、会議録に基づいて各議員が1,100字以内にまとめ、議会広報委員会が会議録で最終確認したものを掲載しております。

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。
また、村ホームページ(会議録)からも検索できます。

歳出の主なもの

総務管理費で前年度比0.6%増の286万6千円、分担金及び負担金で前年度比1.6%減の8千646万6千円となっております。

歳出に関する質疑

後期高齢者医療保険料の不納欠損について

答 不納欠損一人いるが、転出しており、転出先で生活保護受給者となっているため、納付困難ということで不納欠損とした。

後期高齢者医療特別会計

単位:千円

	当年度決算額	前年度決算額	比較増減
歳入総額	90,038	92,059	△ 2,021
歳出総額	89,704	91,853	△ 2,149
歳入歳出差引額	334	206	128
実質収支	334	206	128

下水道事業特別会計

平成26年度の決算額は歳入総額11億5千72万8千円、歳出総額1億3千28万5千円歳入歳出差引額2千44万3千円で、実質収支は2千37万2千円となっております。

歳入の主なもの

県支出金が前年度比253.6%増の8億9千922万6千円、繰入金が前年度比5.3%減の9千395万2千円となっております。

歳出の主なもの

下水道事業費が前年度比182.0%増の11億670万3千円、公債費が前年度比11.2%増2千358万1千円となっております。

歳入に関する質疑

宅内配管接続率と事業所の接続について

答 喜瀬武原地区95.7%、山田地区で75.2%となっている。事業所には接続するよう直接出向いて推進しているが、事業所負担分が大きいため、なかなか接続に至らない。今後も進捗していきたい。

歳出に関する質疑

下水道事業費の不用額1千804万6千円について

答 主なものは、宅内配管補助金1千662万2千円と下水道管理費105万1千円です。

下水処理維持管理業務の老朽化している喜瀬武原汚水処理施設について

答 委託業務(機能診断及び構想計画)を発注し、今年度で構想計画の成果品が上がる。保守点検業務を強化していきたい。

下水道事業特別会計

単位:千円

	当年度決算額	前年度決算額	比較増減
歳入総額	1,150,728	427,074	723,654
歳出総額	1,130,285	413,708	716,577
歳入歳出差引額	20,443	13,366	7,077
実質収支	20,372	13,204	7,168

水道事業会計

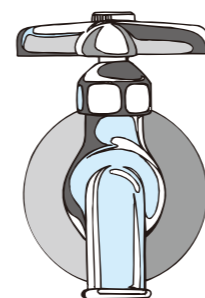
事業収益が対前年度比9.90%増の6億1千513万8千円、事業費用が対前年度比9.70%増の5億5千867万7千円となり、収支差引5千646万1千円の純利益を計上しております。

正常な有収率及び他の市町村の有収率は。

答 正常な有収率は95%から96%、他の市町村では高いところで98%です。

改善する余地があるのでは。

答 今後も継続して漏水調査を行い、有収率の向上に努めていきます。



記事担当 大城 保